

CommonMP 機能拡張ツールライブラリ
登録・公開等手順

平成 27 年 6 月

国土技術政策総合研究所

改訂履歴

改訂年月日	改訂内容／理由
2015/6	初版作成

CommonMP 機能拡張ツール登録・公開等手順

目 次

1	適用	1
1.1	目的	1
1.2	本書の構成	1
1.3	機能拡張ツール登録・公開に関する基本事項	1
1.3.1	機能拡張ツール登録・公開の考え方	1
1.3.2	機能拡張ツールライブラリ登録・公開の流れ	3
1.4	関連資料	6
2	機能拡張ツールの登録・公開手順	7
2.1	登録フォームの入力	7
2.1.1	機能拡張ツール登録フォームの入力	8
2.1.2	登録申請者からの登録フォーム入力のお知らせ	9
2.2	機能拡張ツールの命名規約	10
2.3	機能拡張ツール解説書の作成	10
2.3.1	登録申請に必要な資料	12
2.3.2	機能拡張ツール解説書のフォーマットの取得方法	13
2.3.3	機能拡張ツール解説書の作成方法	14
2.4	機能拡張ツールデータの提出	20
3	機能拡張ツールの確認審査手順	24
3.1	届出内容の確認	24
3.2	安全性の確認審査	26
3.3	機能拡張ツール解説書等の確認審査	26
4	機能拡張ツールライブラリへの登録・公開手順	27
4.1	事務局からの登録内容確認結果のお知らせ	27
4.2	機能拡張ツールライブラリへの登録	28
4.2.1	機能拡張ツールデータと機能拡張ツール解説書の格納	28
4.2.2	機能拡張ツールライブラリへの掲載	28

1 適用

1.1 目的

本書は、国土交通省国土技術政策総合研究所（以下、「国総研」）が CommonMP ウェブサイトで運営する機能拡張ツールライブラリ（以下、「本ライブラリ」）に機能拡張ツールの実行形式ファイル、機能拡張ツール解説書及び他関連ファイル（以下、「機能拡張ツールデータ」）を登録申請するにあたり、機能拡張ツールデータを本ライブラリに登録しようとする者（以下、「登録申請者」）によるその登録申請方法や提出データの作成方法、機能拡張ツールライブラリ管理者（以下、「ライブラリ管理者」）による確認審査手順や機能拡張ツールライブラリへの登録・公開手順について示したものである。

1.2 本書の構成

表 1-1 本書の構成

1 適用	1.1 目的 1.2 本書の構成 1.3 機能拡張ツール登録・公開に関する基本事項 1.4 関連資料
2 機能拡張ツールの登録・公開手順	2.1 登録フォームの入力 2.2 機能拡張ツールの命名規約 2.3 機能拡張ツール解説書の作成 2.4 機能拡張ツールデータ提出
3 機能拡張ツールの確認審査手順	3.1 届出内容の確認 3.2 安全性の確認審査 3.3 機能拡張ツール解説書等の確認審査
4 機能拡張ツールライブラリへの登録・公開手順	4.1 事務局からの登録内容確認結果の通知 4.2 機能拡張ツールライブラリへの登録
添付資料	機能拡張ツール解説書（セルフチェック様式） 機能拡張ツール解説書作成事例 （ハイエト・ハイドロ表示ツール（サンプル））

1.3 機能拡張ツール登録・公開に関する基本事項

1.3.1 機能拡張ツール登録・公開の考え方

機能拡張ツール利用者側からは、機能拡張ツールライブラリに登録される機能拡張

張ツールとして、安全性が確保され、正常動作が可能な品質の高い機能拡張ツールが求められる。一方、機能拡張ツールライブラリへの登録は、様々な登録申請者からなされることが想定される。

これを踏まえて、登録のためには登録申請者により、セルフチェックを実施するとともに、ライブラリ管理者により登録申請者のセルフチェックが適正に実施されたかを確認することとする。なお、セルフチェックの実施結果は、機能拡張ツール解説書に記載し、機能拡張ツール本体とともに公開するものとする（「2.3 機能拡張ツール解説書の作成」参照）。

以上から、機能拡張ツールライブラリへの登録・公開手順と本書の関連を以下に示す。

- ・ 登録申請者は、登録フォーム（届出書）の入力及び機能拡張ツール解説書の作成と機能拡張ツールデータの提出を行う。⇒[2章参照](#)
- ・ CommonMP 管理者（事務局）は、登録申請者から提出された機能拡張ツールデータ（機能拡張ツール解説書や本体 DLL 等）について、確認審査手順に従って内容の確認を行う。⇒[3章参照](#)
- ・ CommonMP 管理者（事務局）は、確認審査結果、不備の無いものについて機能拡張ツールライブラリへの登録し、ウェブサイトへ公開する。⇒[4章参照](#)

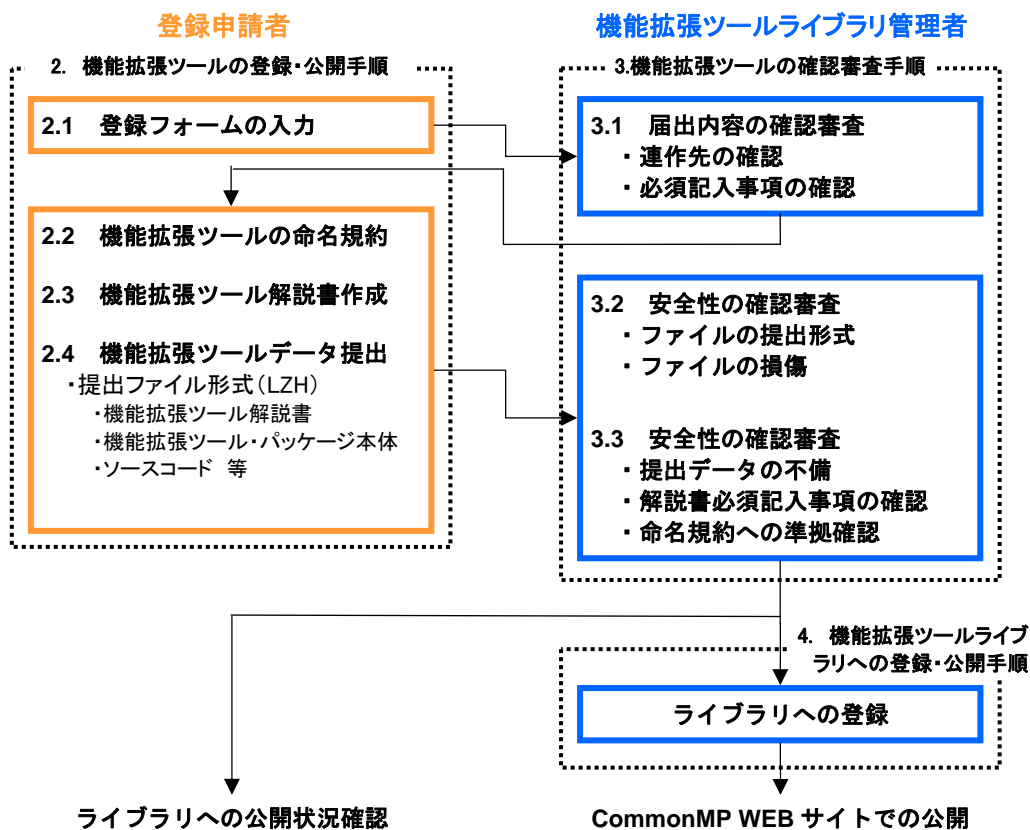


図 1-1 機能拡張ツール登録申請から公開までの手順フロー

1.3.2 機能拡張ツールライブラリ登録・公開の流れ

機能拡張ツールライブラリは、以下の流れで機能拡張ツール登録申請からライブラリ格納に至る。次項以降にそれぞれの作業手順について示す。

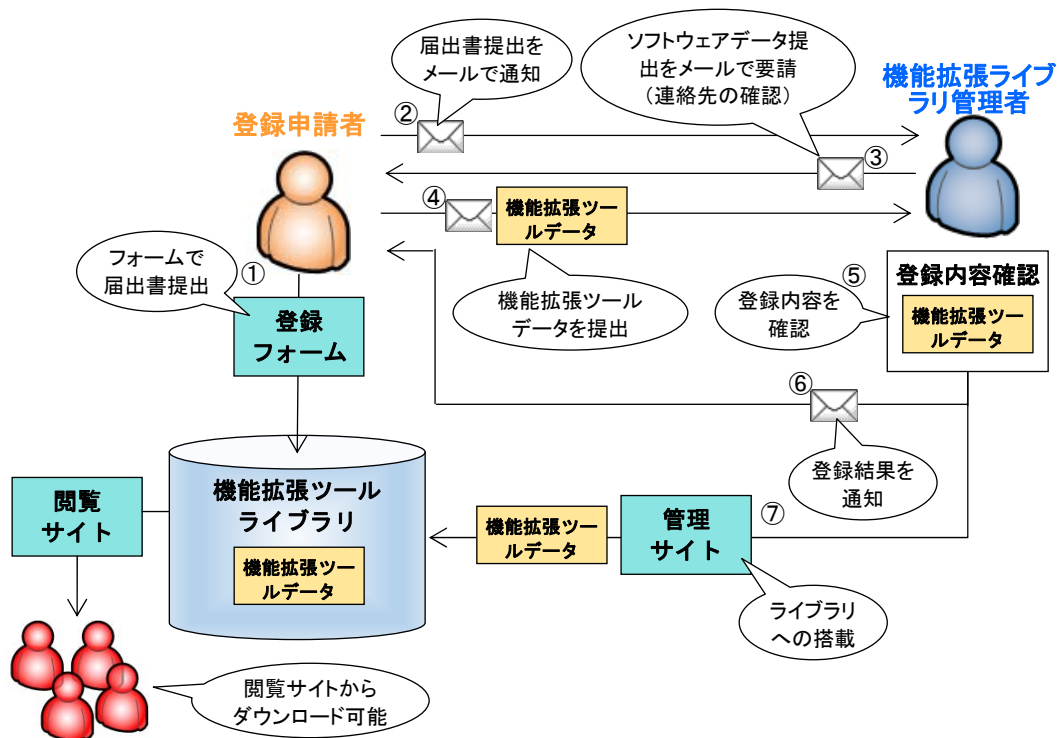


図 1-2 機能拡張ツールライブラリ登録・公開の流れ

- ①：登録申請者は登録フォームを用いて届出書を提出する。
- ②：登録申請者は届出書を提出したことをメールで事務局に通知する（連絡先の確認のため）。
- ③：事務局は受信メールの返信文で機能拡張ツールデータの提出を要請する（連絡先の確認を含む）。
- ④：登録申請者は機能拡張ツールデータをメールで提出する。
- ⑤：事務局は機能拡張ツールデータが要件を満たしているかを確認する。
- ⑥：事務局は登録内容確認結果を登録申請者に通知する。
- ⑦：事務局は要件を満たした機能拡張ツールデータをライブラリに格納する。

機能拡張ツールライブラリ画面

機能拡張ツールライブラリはウェブコンテンツであり、以下に示す機能を有している。

- 登録フォーム : 登録申請者が機能拡張ツール届出書を提出するためのウェブサイト。登録申請者の連絡先、機能拡張ツールの概要などを記載する。
- 閲覧サイト : ライブラリ管理者によって一般公開の設定がなされた機能拡張ツールが掲載されるウェブサイト。一般ユーザも閲覧が可能。

機能拡張ツール・ライブラリ 登録フォーム

※は必須記入項目です。各項目記入の上、「記入内容確認」ボタンをクリックして下さい。

項目	内容	備考欄
登録申請者名※	<input type="text"/>	登録申請者の氏名を記入して下さい。
組織名・所属※	<input type="text"/>	登録申請者の所属組織を記入して下さい。
連絡先(Emailアドレス)※	<input type="text"/>	連絡先Emailアドレスを記入して下さい。
著作権者名※	<input type="text"/>	機能拡張ツールの著作権者名(組織または個人)を記入して下さい。
登録申請者と著作権者の確認※	<input type="radio"/> 著作権者本人による届け出 <input type="radio"/> 代理人等による届け出(下記に詳細を記入して下さい)	登録申請者と著作権者の関係を記入して下さい。
著作権情報の確認※	<input type="radio"/> 上記の著作権者は本機能拡張ツールの唯一の著作権者です <input type="radio"/> 本機能拡張ツールの著作権は複数者から構成されています <input type="checkbox"/> 他の著作権者の著作権を侵害していません	著作権情報を記入して下さい。
機能拡張ツール名称※	<input type="text"/>	機能拡張ツールの名称を記入して下さい。
機能拡張ツールの配布ファイル名※ (例: jp.xxxx.abc_tool)	<input type="text"/>	機能拡張ツール配布ファイル名(拡張子(.toolib)は削除)を記入して下さい。 事務局管理方式で登録される場合は「事務局管理方式」と記入して下さい。
機能拡張ツールのバージョン※	<input type="text"/>	機能拡張ツールのバージョンを記入して下さい。
CommonMPの対応バージョン※	<input type="text"/>	対応するCommonMPのバージョンを記入して下さい。 例) Ver1.0 \ Ver1.1
ソースコード公開の有無※	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	機能拡張ツールのソースコード公開の有無について選択して下さい。
複製の許諾※	<input type="radio"/> 可 <input type="radio"/> 否	機能拡張ツールの複製の可否について選択して下さい。
改変の許諾※	<input type="radio"/> 可 <input type="radio"/> 否	ソースコード改変の可否について選択して下さい。
再配布の許諾※	<input type="radio"/> 可 <input type="radio"/> 否	再配布の可否について選択して下さい。
概要※	<input type="text"/>	機能拡張ツールの概要を記入して下さい。(※200文字以内)
前バージョンを削除	<input type="checkbox"/> 前のバージョンの機能拡張ツールをライブラリから削除	すでに同種の機能拡張ツールを登録している場合で、前のバージョンの機能拡張ツールをライブラリから削除する場合は、チェックを入れてください。

図 1-3 登録フォーム画面

以下に示す閲覧サイトの URL では登録されている機能拡張ツールの一覧とそれぞれの機能拡張ツールの詳細情報を表示することができ、ダウンロードボタンをクリックすることで機能拡張ツールデータをダウンロードすることができる。また、PDF ファイルで作成される機能拡張ツール解説書はダウンロードデータ内にも含まれているが、一覧画面上で表示させることも可能である。

<http://framework.nilim.go.jp/lib-tool/table.html>

【ライブラリの一覧画面】

機能拡張ツール ライブラリー一覧

総件数:1 (20件表示) << >>

検索 リセット

[最新レコードへ](#)

ダウンロード	解説書	機能拡張ツール名・バージョン	著作権者	公開年月日	ダウンロード数	概要
ダウンロード	PDF	ハイドロ・ハイト表示ツール(サンプル) Ver1.0	XXXX事業体	2015-05-25	1	概要

【ライブラリの詳細画面】

[一覧に戻る](#)

項目	内容
著作権者名	XXXX事業体
組織名・所属	XXXX事業体
機能拡張ツール名称	ハイドロ・ハイト表示ツール(サンプル)
機能拡張ツールの配布ファイル名	jp.xxxx.sample.HyetoHydroGraph
機能拡張ツールのバージョン	Ver1.0
CommonMPの対応バージョン	Ver1.3以降
ソースコード公開の有無	有
複製の許諾	可
改変の許諾	可
再配布の可否	可
概要	本機能拡張ツールは、雨量、流量データ、水位の時系列データをグラフ表示するツールである。これらの時系列データは、CommonMP標準フォーマットに対応しているため、CommonMPのシミュレーション結果をグラフ表示することができる。

図 1-4 機能拡張ツールライブラリの閲覧サイト画面

1.4 関連資料

機能拡張ツールデータの具体的な作成方法や、CommonMPに関する技術資料については、下記の関連資料等を参照されたい。

- 1) CommonMP ウェブサイト <http://framework.nilim.go.jp/>
- 2) CommonMP Ver1.4 インストール手順書
- 3) CommonMPver1.4 操作手順書
- 4) 機能拡張ツール開発解説書

2 機能拡張ツールの登録・公開手順

2.1 登録フォームの入力

ここでは登録フォームの入力方法について記載する。

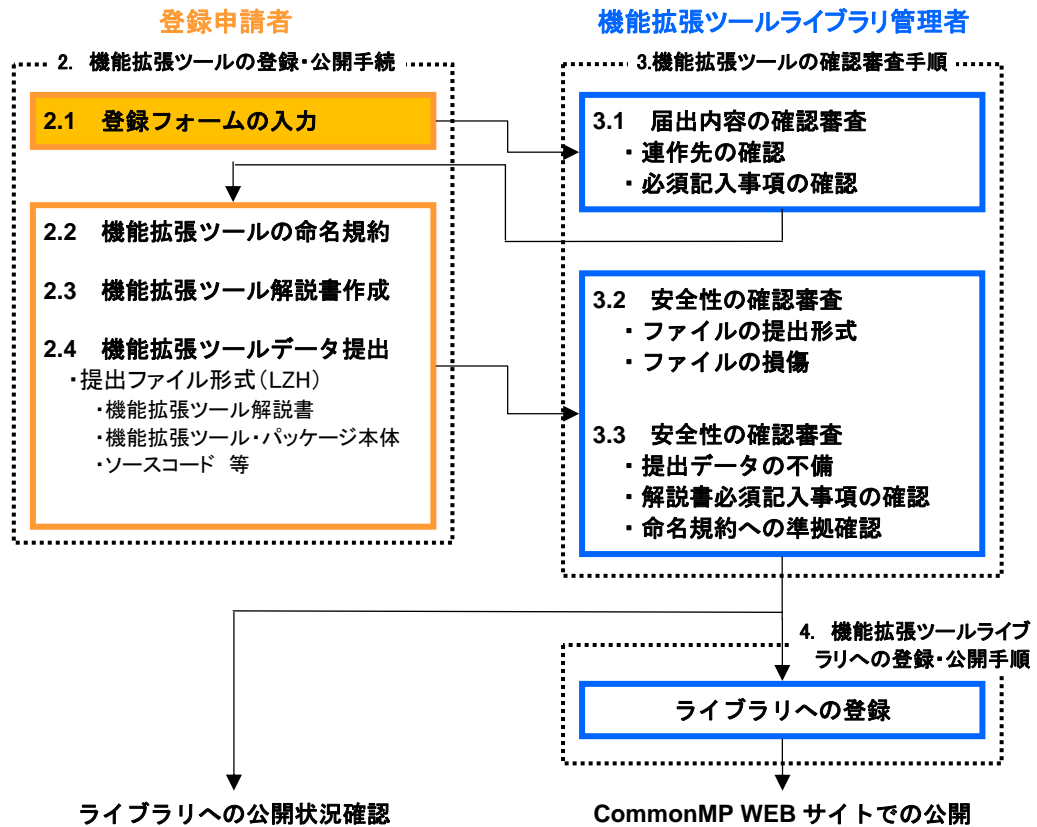


図 2-1 機能拡張ツール登録申請から公開までの手順フロー

2.1.1 機能拡張ツール登録フォームの入力

登録申請者の届出書提出は CommonMP ウェブサイト上に設けられている登録フォームから行う。

表 2-1 機能拡張ツール届出書の記入内容

項目		内容
機能拡張ツール 作成者情報	氏名	作成者氏名を記入して下さい。
	組織名・所属	作成者所属を記入して下さい。
	連絡先(電話番号)	連絡先電話番号を記入して下さい。
	連絡先(Email アドレス)	連絡先 Email アドレスを記入して下さい。
	登録申請者と著作権者の確認	() 著作権者本人による届け出 () 代理人等による届け出(下記に詳細を記入して下さい。) (著作権者本人以外の届け出の場合、記入して下さい。)
	著作権情報の確認	<input type="checkbox"/> 上記の著作権者は本機能拡張ツールの唯一の著作権者です。 <input type="checkbox"/> 本機能拡張ツールの著作権は複数者から構成されています。 <input type="checkbox"/> 他の著作権者の著作権を侵害していません。
機能拡張ツール 概要	機能拡張ツール名称	機能拡張ツールの名称を記入して下さい。 例) ○○データ取得ツール
	機能拡張ツールの配布ファイル名	機能拡張ツールの配布ファイル名を記入して下さい。
	機能拡張ツールのバージョン	機能拡張ツールのバージョンを記入して下さい。 例) Ver.1.0
	CommonMP の対応バージョン	対応する(動作確認をしている)CommonMP のバージョンを記入して下さい。
	ソースコード公開の有無	機能拡張ツールのソースコード公開の有無について選択して下さい。
	複製の許諾	機能拡張ツールの複製の可否について選択して下さい。
	改変の許諾	機能拡張ツールの改変の可否について選択して下さい。
	再配布の許諾	再配布の可否について選択して下さい。
	概要	機能拡張ツールの概要を入力して下さい。 例) 降雨データを入力し○○法による流出量を算出する。

機能拡張ツールライブラリ登録フォーム URL :

<https://framework.nilim.go.jp/lib-tool /form.html>

登録フォームでは、氏名、所属、連絡先等の登録申請者に関するものの他に、機能拡張ツールの名称、バージョン、概要などについて記入し、送信する。

機能拡張ツール・ライブラリ 登録フォーム

※は必須記入項目です。 各項目記入の上、「記入内容確認」ボタンをクリックして下さい。

項目	内容	備考欄
登録申請者名※	<input type="text"/>	登録申請者の氏名を記入して下さい。
組織名・所属※	<input type="text"/>	登録申請者の所属組織を記入して下さい。
連絡先(Emailアドレス)※	<input type="text"/>	連絡先Emailアドレスを記入して下さい。
著作権者名※	<input type="text"/>	機能拡張ツールの著作権者名(組織または個人)を記入して下さい。
登録申請者と著作権者の確認※	<input type="radio"/> 著作権者本人による届け出 <input type="radio"/> 代理人等による届け出(下記に詳細を記入して下さい) <input type="text"/>	登録申請者と著作権者の関係を記入して下さい。
著作権情報の確認※	<input type="radio"/> 上記の著作権者は本機能拡張ツールの唯一の著作権者です <input type="radio"/> 本機能拡張ツールの著作権は複数者から構成されています <input type="checkbox"/> 他の著作権者の著作権を侵害していません	著作権情報を記入して下さい。
機能拡張ツール名称※	<input type="text"/>	機能拡張ツールの名称を記入して下さい。
機能拡張ツールの配布ファイル名※ (例: jpxxxx.abc_tool)	<input type="text"/>	機能拡張ツール配布ファイル名(拡張子(toolib)は削除)を記入して下さい。 事務局管理方式で登録される場合は「事務局管理方式」と記入して下さい
機能拡張ツールのバージョン※	<input type="text"/>	機能拡張ツールのバージョンを記入して下さい。
CommonMPの対応バージョン※	<input type="text"/>	対応するCommonMPのバージョンを記入して下さい。 例) Ver1.0 \ Ver1.1
ソースコード公開の有無※	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	機能拡張ツールのソースコード公開の有無について選択して下さい。
複製の許諾※	<input type="radio"/> 可 <input type="radio"/> 否	機能拡張ツールの複製の可否について選択して下さい。
改変の許諾※	<input type="radio"/> 可 <input type="radio"/> 否	ソースコード改変の可否について選択して下さい。
再配布の許諾※	<input type="radio"/> 可 <input type="radio"/> 否	再配布の可否について選択して下さい。
概要※	<input type="text"/>	機能拡張ツールの概要を記入して下さい。(※200文字以内)
前バージョンを削除	<input type="checkbox"/> 前のバージョンの機能拡張ツールをライブラリから削除	すでに同種の機能拡張ツールを登録している場合で、前のバージョンの機能拡張ツールをライブラリから削除する場合は、チェックを入れてください。

図 2-2 登録フォーム画面

2.1.2 登録申請者からの登録フォーム入力の通知

登録申請者の連絡先確認のため、登録申請者が登録フォームより届出書提出を行った後、届出書提出を事務局宛に電子メールにて通知する。

事務局メールアドレス : lib_tool@framework.nilim.go.jp

登録申請者は事務局宛メールには下記の内容を明記する。

- ・登録した日にかち：
(登録フォーム記載内容)
- ・機能拡張ツールの著作権者：
- ・機能拡張ツール名称：
(登録申請者の連絡先)
- ・登録申請者氏名：
- ・登録申請者所属：

- ・登録申請者メールアドレス：

機能拡張ツールライブラリ管理者からはメール受信と機能拡張ツールデータの作成方法、送付方法が記載されたメールが返信される（p25 参照）。

2.2 機能拡張ツールの命名規約

ここでは機能拡張ツールの命名規約について記載する。

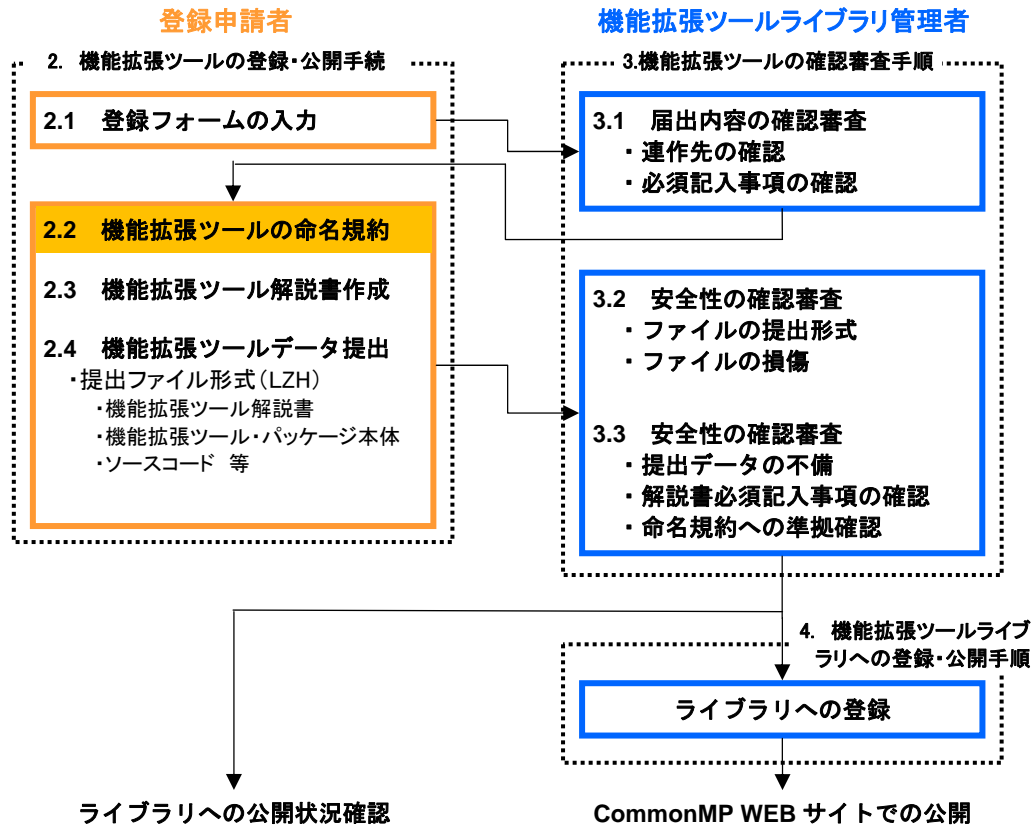


図 2-3 機能拡張ツール登録申請から公開までの手順フロー

CommonMP ウェブ上のライブラリに登録するためには、機能拡張ツールのファイル名や名前空間をユニークに保つ必要がある。これらがライブラリ上で重複しないよう、機能拡張ツールの命名規約を準拠することが必要である詳細は、「機能拡張ツール開発解説書」を参照のこと）。

2.3 機能拡張ツール解説書の作成

ここでは、機能拡張ツール解説書の作成について記載する。

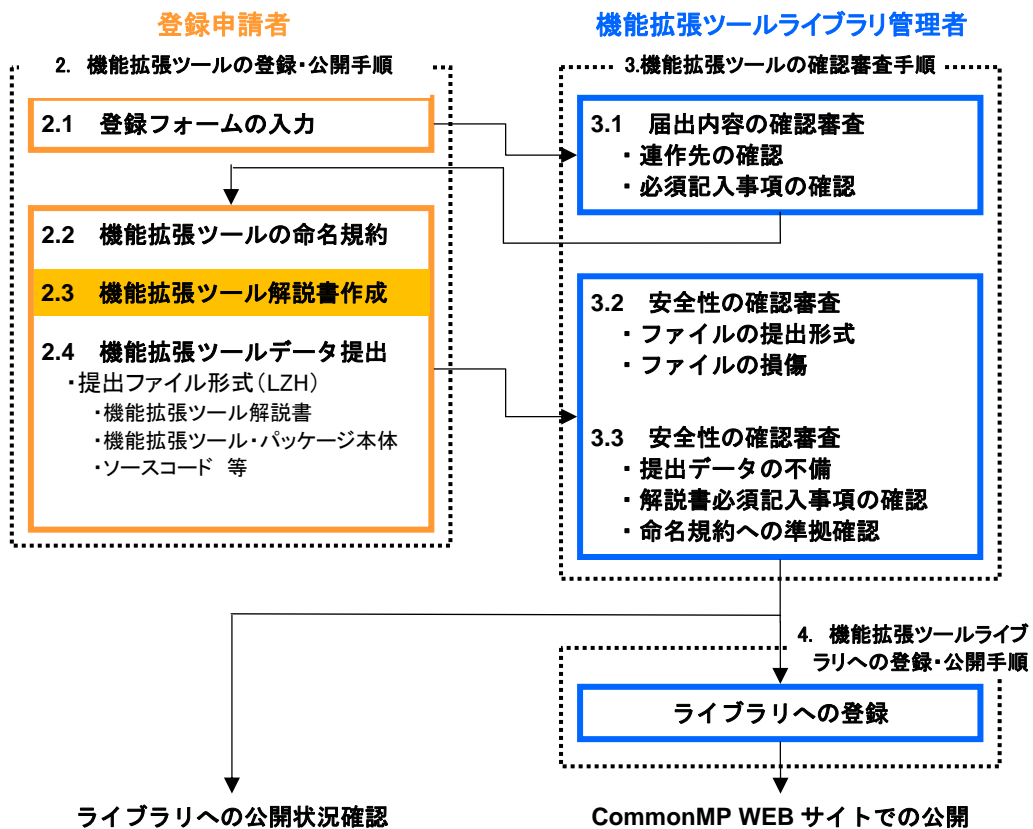


図 2-4 機能拡張ツール登録申請から公開までの手順フロー

登録申請者は、「機能拡張ツール解説書」を作成し、モデルデータ提出時には機能拡張ツールの配布ファイル等と併せて、この解説書を提出する。

2.3.1 登録申請に必要な資料

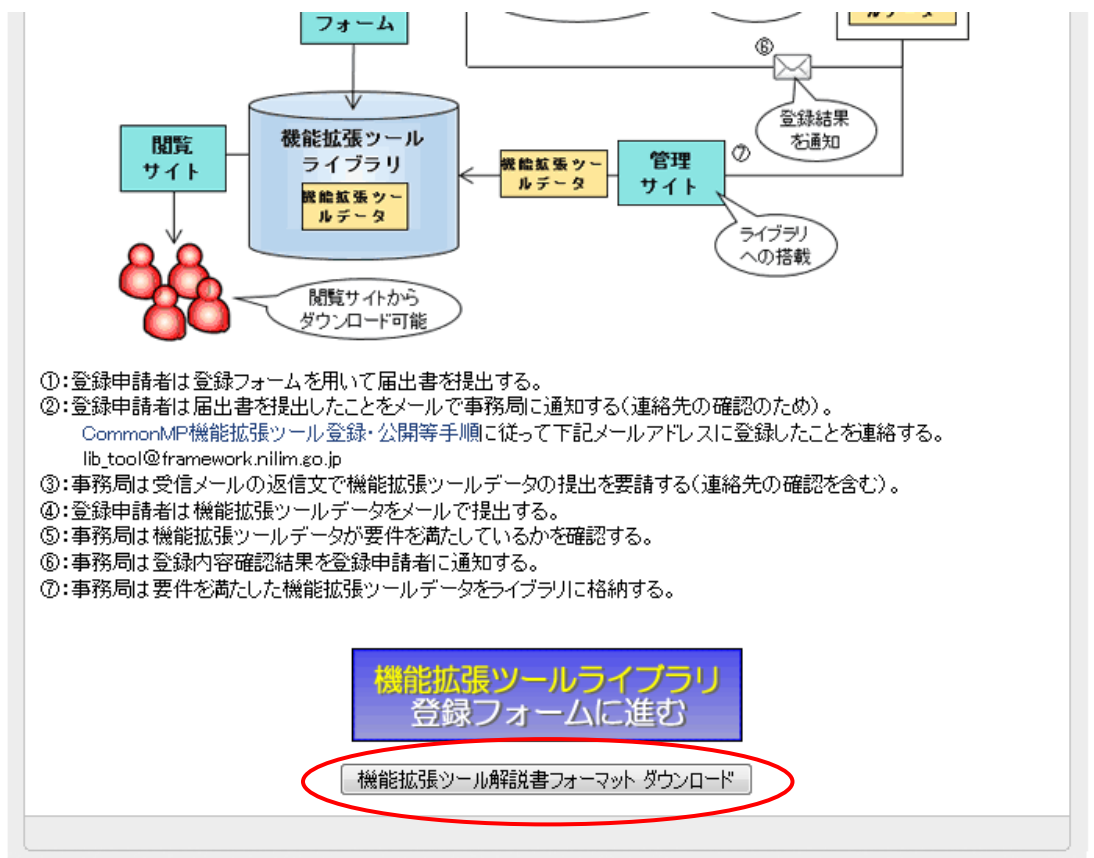
機能拡張ツールのライブラリ登録に当たっては、下記のドキュメント（書類）及びデータの提出が必要である。機能拡張ツール解説書のうち、「機能拡張ツールの妥当性確認」及び「利用許諾条件書」の提出は任意である。利用許諾条件書を提出しない場合は、「機能拡張ツールライブラリ ダウンロード規約」に定めた利用許諾条件に従うこととなる。

表 2-2 登録・公開に必要な提出資料

機能拡張ツール登録時の提出書類(書類・データ)			提出義務	公開 対応
書類	提出書	機能拡張ツール作成者の本人確認	必須	非公開
	解説書	機能拡張ツールの基本情報		
		機能拡張ツールの仕様適合チェック結果		必須
		機能 説明	機能拡張ツールの機能	必須
			機能拡張ツールの利用方法	必須
		機能 確認	機能拡張ツールの動作確認	必須
			機能拡張ツールの妥当性確認	任意
利用許諾条件書		任意	公開	
データ	機能拡張ツール配布ファイル			必須
	ソースコード			任意
	サンプルデータ		任意	

2.3.2 機能拡張ツール解説書のフォーマットの取得方法

セルフチェック様式は、CommonMP 機能拡張ツールライブラリ登録フォームから、「機能拡張ツール解説書フォーマット」（ワードファイル）を入手し、「2.3.3 機能拡張ツール解説書の作成方法」に示すとおり登録対象とする機能拡張ツールの各種情報及び確認結果について、様式に従って作成する。



(URL : <http://framework.nilim.go.jp/lib-tool/procedure.html>)

図 2-5 登録フォーム画面（機能拡張ツール解説書フォーマット）

2.3.3 機能拡張ツール解説書の作成方法

登録申請者は、機能拡張ツールのセルフチェックを実施する際、本章の作成手順に従うものとする。機能拡張ツール解説書は、以下の構成からなる。機能拡張ツール解説書の各項目の記載方法は、次頁以降に示す記載方法に従って記載する。

表 2-3 機能拡張ツール解説書の構成

章	項目
(1) 機能拡張ツール基本情報	① 開発履歴 ② 開発環境および開発者情報 ③ ウィルスチェック ④ 機能拡張ツールプログラム諸元 ⑤ データ及び資料の有無 ⑥ 公開データのファイル名 ⑦ 機能拡張ツールの使用許諾条件
(2) 機能拡張ツールの仕様適合チェック結果	機能拡張ツールの仕様適合に関する各種項目
(3) 機能拡張ツールの機能	機能拡張ツールの機能の説明を記述
(4) 機能拡張ツールの利用方法	インストール方法、利用方法、削除方法等を必要に応じて記入
(5) 機能拡張ツールの動作確認	サンプルデータ等による動作確認結果
(6) 機能拡張ツールの妥当性確認	機能拡張ツールの妥当性確認結果（任意）

(1) 機能拡張ツール基本情報

下記の「青字」で示した内容について記載を行う必要がある。本内容の記載は、必須事項とする。

① 開発履歴

年月日	機能拡張ツールバージョン	内容
yyyy/mm/dd	Ver.??	機能拡張ツールの開発内容について記入して下さい。 例) 初版開発、公開

② 開発環境

No	項目		内容
1	モデル開発環境および動作環境	使用 OS およびバージョン	開発環境の OS を記入して下さい。 例) Windows 7 Professional
2		.NET Framework のバージョン	.NET Framework のバージョンを記入して下さい。(わかる範囲で記入) 例) .NET Framework 3.5 Service Pack 1
3		開発環境およびバージョン	開発環境を記入して下さい。 例) Visual C# 2008 Express Edition(SP1)
4		CommonMP 本体のバージョン	CommonMP 本体のバージョンを記入して下さい。 例) Ver.1.3.0

③ ウィルスチェック

No	項目		内容
1	ウィルスチェック	ウィルス対策ソフト名	ウィルスチェックを行ったソフト名を記入して下さい。
2		ウィルス定義(更新日時)	ウィルスチェックを行ったウィルス定義の更新日時を記入して下さい。
3		チェック年月日	ウィルスチェックを行った年月日を入力して下さい。

④ 機能拡張ツールプログラム諸元

No	項目	内容
1	名前空間	機能拡張ツールの名前空間を記入して下さい。 例) jp.go.nilim
2	業務識別子	機能拡張ツールの業務識別子を記入して下さい。 例) jp.go.nilim.xxxx_tool
3	機能拡張ツール配布ファイル	機能拡張ツールの業務識別子を記入して下さい。 例) jp.go.nilim.xxxx_tool.toollib

⑤ データ及び資料の有無

No	項目	内容	資料提出の有・無
1	機能拡張ツール本体	機能拡張ツール配布ファイル	あり(必須)
2	ドキュメント	機能拡張ツール解説書	あり(必須)
3	プログラム	ソースコード	(あり・なし)を記入 例) あり
4	サンプルデータ	サンプルデータ(テスト用データ)	(あり・なし)を記入 例) あり

⑥ 公開データのファイル名

No	項目	内容
1	機能拡張ツール配布ファイル	機能拡張ツール本体の実行形式名を記入して下さい。 例) jp.go.nilim.xxtool.toollib or jp.go.nilim. xxtool.dll
2	その他実行に必要なファイル	(ある場合) 機能拡張ツールの実行に必要なファイル名を記入して下さい。 例) jp.go.nilim.xxtool.exe
3	機能拡張ツールアイコンファイル	(ある場合) 機能拡張ツールのアイコンファイル名(*.ico)を記入して下さい。 例) jp.go.nilim. xxtool.ico
4	機能拡張ツール解説書	機能拡張ツール解説書(本ファイル)のファイル名を記入して下さい。 例) jp.go.nilim.xxtool.pdf
5	その他	その他あれば記入して下さい。 例) なし
6	ソースコード	ソースコード公開の場合は、プログラムファイル名を記入して下さい。 例) ○○Define.cs、 ○○ViewerJob.cs、 ○○ViewerJobFactory.cs
7	サンプルデータ(テスト用データ)	サンプルデータがある場合は、ファイル名を記入して下さい。 例) サンプルプロジェクトファイル : サンプル.zip サンプルデータ : サンプルデータ.csv

⑦ 機能拡張ツールの使用許諾条件

No	項目	内容
1	独自に作成した使用許諾条件書の有無	(あり・なし)を記入。ありの場合、機能拡張ツール解説書の最後に添付してください。 様式自由。 例) あり。使用許諾条件書を本解説書の末に添付。
2	準拠する使用許諾条件書 (機能拡張ツールライセンス)	(ある場合)準拠する使用許諾条件書を記入して下さい。 例) GPLver○に準拠する
3	著作権者(社)	開発者(著作権者)の情報を記入して下さい。(公開して差し支えない内容で記入して下さい) 例) ○○大学 ○○太郎 TEL 03-0000-0000 Email ○○○
4	複製の許諾	ソースコード、実行体(DLLファイル)、機能拡張ツール解説書、サンプルデータのそれぞれについて、複製の可、不可を記入。 例) ソースコード、実行体(DLLファイル)、機能拡張ツール解説書、サンプルデータの複製可
6	改変の許諾	ソースコード改変の可、不可を記入 例) ソースコードの改変可
7	再配布の許諾	ソースコード、実行体(DLLファイル)、機能拡張ツール解説書、サンプルデータのそれぞれについて、再配布の可、不可を記入 例) ソースコード、実行体(DLLファイル)、機能拡張ツール解説書、サンプルデータの再配布可
8	謝辞、クレジットの記載に関する規定	問い合わせ先を記載してください。 例) 本機能拡張ツールを使用した成果を発表する際には、本機能拡張ツールを使用したことを明記する。
9	問い合わせ先	問い合わせ先を記載してください。 例) 不具合に関する問い合わせのみ受付。不具合の報告は、開発者のメールアドレス(○○○)へ送付のこと
10	特許情報(ある場合は番号記載)	(ある場合)記載してください。 例) 特許番号 第○○○○号
11	保証に関する免責事項	(ある場合)記載してください。 例) 本機能拡張ツールの動作に関し、本機能拡張ツールの作者は責任を負うものではありません。また、本機能拡張ツールのインストールおよび使用に関し、本機能拡張ツールの使用者の直接的・間接的に発生する一切の損害に対し、本機能拡張ツールの作者は責任を負うものではありません。
12	禁止事項	(ある場合)記載してください。 例) 本プログラムの著作権者および第三者の信用を毀損し、あるいは損害を及ぼす行為を行うこと。 本プログラムを用いて、利用者が特許権など独占権を有すること。

(2) 機能拡張ツールの仕様適合チェック結果

下記の「青字」で示した内容について記載を行う。本内容の記載は、必須事項とする。

No	チェック項目		チェック結果
	項目	内容	
1	命名規約	実行ファイルや業務識別子等は命名規則に準拠しているか	準拠しているかチェックした上で記入して下さい。 例)チェック済み
2	ツール登録	メニュー操作等によりツールをランチャーに登録可能か	登録可能かチェックした上で記入して下さい。 例)チェック済み
3	ツールの動作	仕様に示されたとおりに動作するか	動作するかチェックした上で記入して下さい。 例)チェック済み

(3) 機能拡張ツールの機能

- ・機能仕様
機能拡張ツールとしての機能の概要を記入する。
- ・機能仕様
機能拡張ツールとしての機能の仕様（動作原理、演算・解法等）を記入する。

(4) 機能拡張ツールの利用方法

- ・インストール方法
- ・起動方法
- ・操作方法
- ・削除方法 等
- ・・・適宜、利用に当たって説明が必要な項目を記入する。

(5) 機能拡張ツールの動作確認

- ・サンプルデータによる動作確認結果
- ・機能拡張ツール演算結果の確認
- ・・・機能拡張ツールとして適正に動作していることをサンプルデータを用いて示す。
演算を伴う機能拡張ツールについては、演算結果を示す。

(6) 機能拡張ツール妥当性確認（任意）

自明でない演算を伴う機能拡張ツールの場合、演算結果を複数の方法により示して、一致していることを確認する等の方法により、機能拡張ツールの計算方法の妥当性を確認する。

2.4 機能拡張ツールデータの提出

ここでは機能拡張ツールデータの提出方法について記載する。

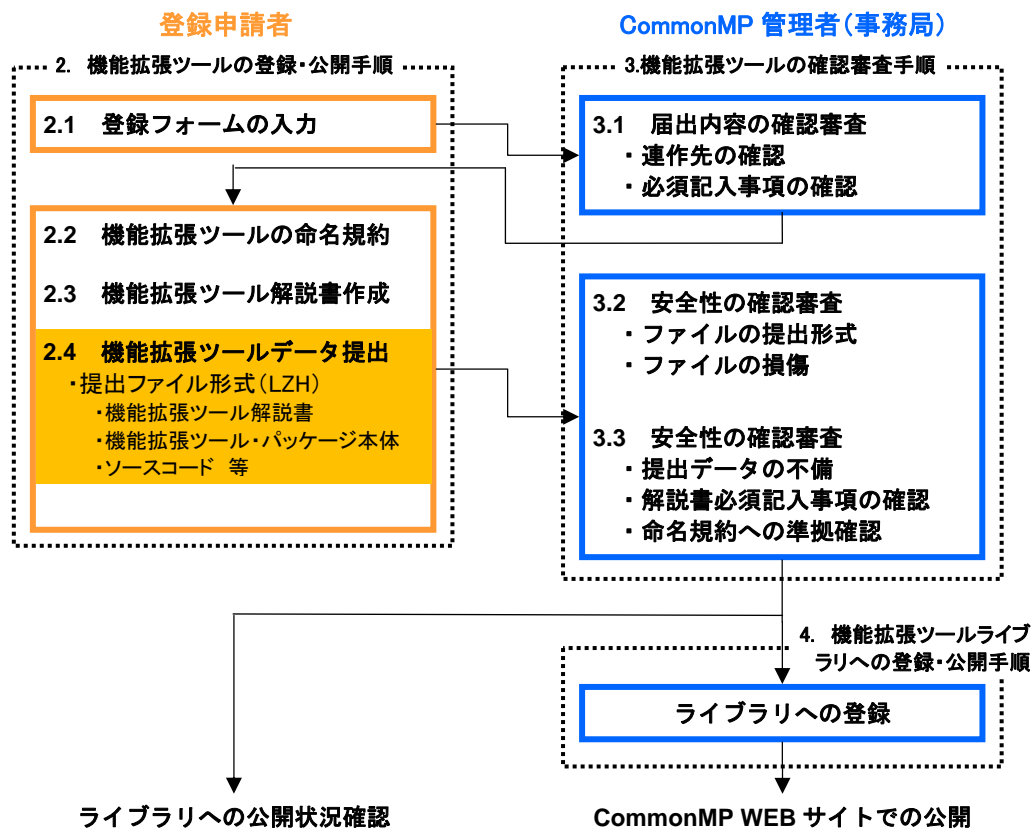


図 2-6 機能拡張ツール登録申請から公開までの手順フロー

(1) 提出方法

登録申請者から事務局への機能拡張ツールデータの提出は、事務局から機能拡張ツールデータ提出の要請について送付される電子メールの返信メールに添付して行う。

メールには以下の内容を明らかにした上で、送付する。事務局から送信されるメ

ールには、予め連絡先確認の際の情報が記載されているので、それを引用したメールで機能拡張ツールを提出する場合は、あらためて入力する必要はない。

- ・登録した日にち：

(登録フォーム記載内容)

- ・登録した機能拡張ツール著作権者：
- ・登録した機能拡張ツール著作権者の所属：
- ・連絡先（電話番号）：
- ・連絡先（メールアドレス）：
- ・機能拡張ツールの名称：

(登録申請者の連絡先)

- ・登録申請者氏名：
- ・登録申請者所属：
- ・登録申請者電話番号：
- ・登録申請者メールアドレス：

ただし、添付ファイル容量が 10.0MB を越える場合には、別途の方法での提出を行う旨とその具体的な方法を明記した上でメールを送付する。

(2) 提出ファイル形式

提出ファイル形式は、以下の①、②、③を LZH 形式に圧縮した 1 ファイルとする。

【提出ファイル形式】

①CommonMP 機能拡張ツール(モデルライブラリ)(ZIP 形式)

- ・ 機能拡張ツール解説書 (PDF)
- ・ 機能拡張ツールパッケージファイル
- ・ ソースコード (任意提出データ)

②サンプルデータ (ポータブルデータ) (ZIP 形式)

- ・ 入力データ等
- ・ 計算結果等
- ・ パラメーターデータ等
- ・ その他

③独自のライセンス規約等 (任意)

*上記①、②、③を LZH 形式にて圧縮したものを提出ファイル形式とする。

①CommonMP 機能拡張ツール（モデルライブラリ）フォルダ構成例

下記のようなフォルダ構成でデータを格納する。CommonMP の「ヘルプ > ツール管理 > ツールのパッケージ化」メニューを用いると、この形式で格納することができる。

ZIP 形式(モデルライブラリ)

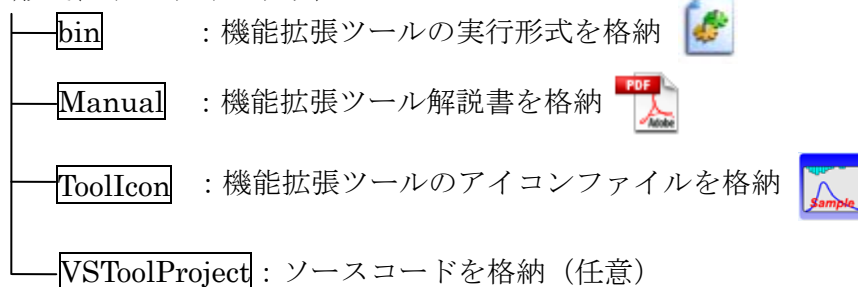


図 2-7 CommonMP 配布形式(機能拡張ツールライブラリ) (ZIP 形式)のフォルダ構成

②サンプルデータ（ポータブルデータ）フォルダ構成

下図のようなフォルダ構成（フォルダ名すべて固定）でデータを格納する。

ZIP 形式(ポータブルデータ)

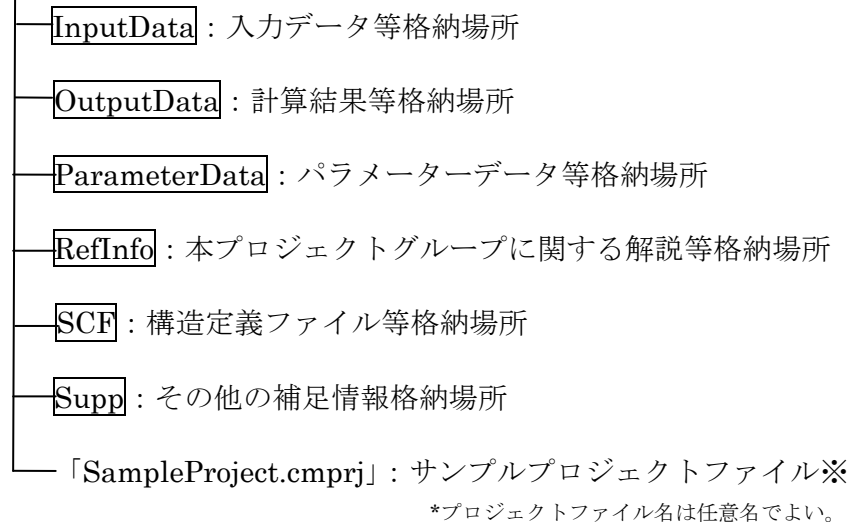


図 2-8 CommonMP 配布形式 (ZIP 形式) のフォルダ構成

表 2-4 ファイル名の考え方

ファイル形式	ファイル名	例)
LZH	業務識別子.lzh	jp.go.nilim. xxtool.lzh
ZIP	(①機能拡張ツール・パッケージファイル) 業務識別子.toollib	jp.go.nilim. xxtool.toollib
	(②ポータブルデータ) 業務識別子_portabledata.zip	jp.go.nilim.xxtool_portabledata.zip
PDF	業務識別子.pdf	jp.go.nilim.xxtool.pdf

(*機能拡張ツールの命名規約は「2.2 節」を参照)

3 機能拡張ツールの確認審査手順

ここでは届出内容及び機能拡張ツール提出データの確認審査手順について記載する。

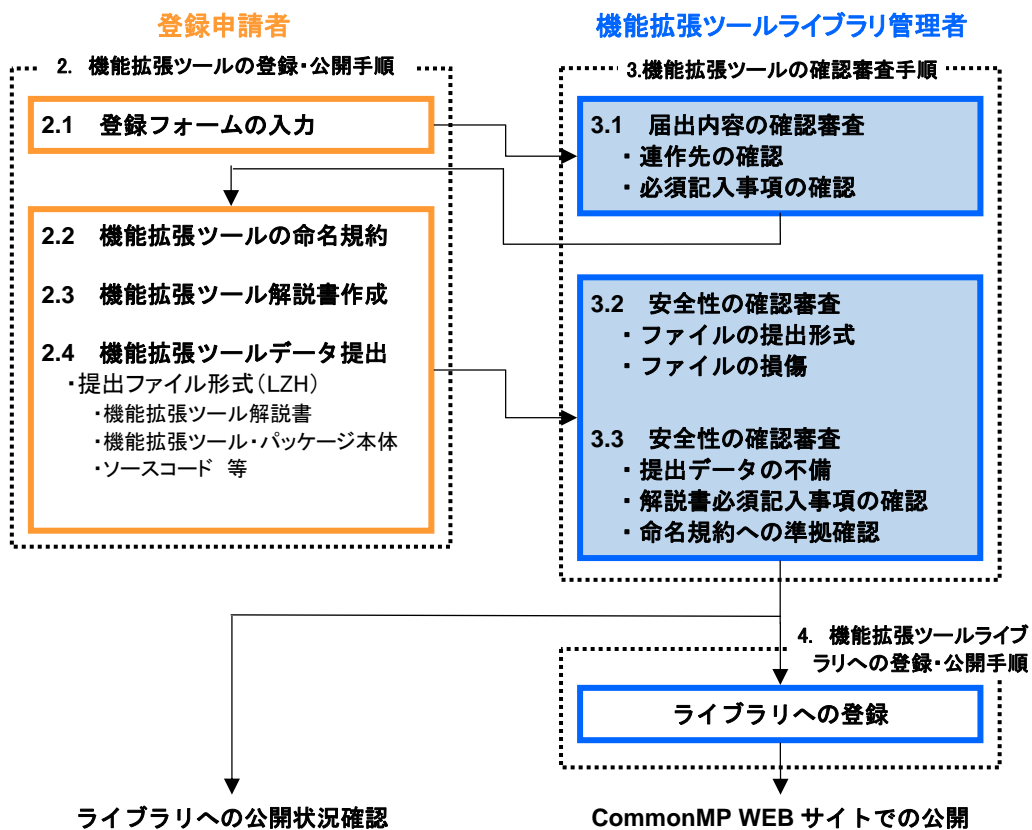


図 3-1 機能拡張ツール登録申請から公開までの手順フロー

3.1 届出内容の確認

事務局は、登録申請者が届出書提出を通知したメールアドレス宛に機能拡張ツールデータの提出方法を連絡する。その登録申請者は、そのメールの返信で機能拡張ツールデータを提出し、事務局はそれを受領した時点で連絡先の確認ができたものとする。

〇〇株式会社 〇〇様

機能拡張ツール届出書のご提出、ありがとうございます。

CommonMP 事務局からのメールです。

つきましては、機能拡張ツールライブラリ登録に向けた機能拡張ツールデータの登録内容確認を行いますので、「CommonMP 機能拡張ツール登録・公開等手順」に則り機能拡張ツールデータを作成し、添付ファイルにて本メールにご返信下さい。

なお、添付ファイル容量が 10.0MB を越える場合は、データの送付方法を明記の上、上記メールアドレスに機能拡張ツールデータご提出の旨をご連絡ください。

ご提出いただいたソフトウェアデータは、登録内容確認後、記載内容に不備がなければ機能拡張ツールライブラリに登録し、ウェブサイト上に公開いたします。

3.2 安全性の確認審査

提出データに対し、提出ファイル形式の確認及び提出物のファイルの損傷等の確認を行う。

NO	項目	チェック内容
1	提出形式の確認	・提出ファイル形式の確認
2	提出物のファイル損傷等の確認	・LZH ファイルの解凍を実施して、ファイルの損傷等がないことを確認

3.3 機能拡張ツール解説書等の確認審査

機能拡張ツール解説書に対して以下のチェックを行う。

NO	項目	チェック内容
1	機能拡張ツール解説書が正常に開けることの確認	・機能拡張ツール解説書が存在するかを確認 ・機能拡張ツール解説書が正常に開けるかを確認
2	機能拡張ツール解説書の記載の有無の確認	・解説書の記載の有無を確認
3	命名規約の確認	・命名規約に準拠しているかを確認

(確認結果の取り扱い)

事務局による以上の内容確認結果に問題がない場合は合格とし、不備があった場合は不合格とする（確認結果の通知は 4.1 参照）。

4 機能拡張ツールライブラリへの登録・公開手順

ここでは機能拡張ツールライブラリへの登録・公開手順について記載する。

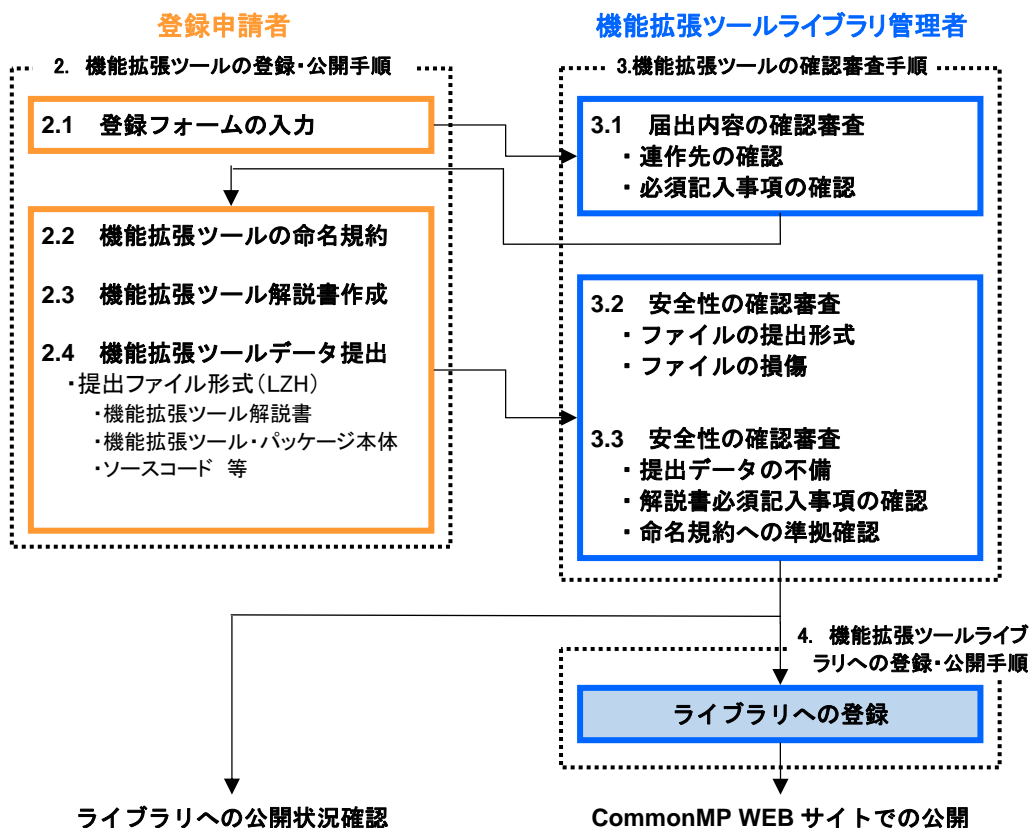


図 3-2 機能拡張ツール登録申請から公開までの手順フロー

4.1 事務局からの登録内容確認結果の通知

事務局からの登録申請者への登録内容確認結果の通知は以下の文章を電子メールにて送信する。

【確認結果が合格の場合】

〇〇株式会社 〇〇様

CommonMP 機能拡張ツールライブラリ管理者（事務局）からのメールです。

ご提出いただいた機能拡張ツール「〇〇〇（ソフトウェア名称）」の登録内容確認の結果を通知いたします。

登録内容確認の結果、機能拡張ツールライブラリに登録させていただくこととなりました。

これより、機能拡張ツールライブラリへの搭載作業を行います。ソフトウェアライブラリへの登録の確認は、下記 URL にて行ってください。

なお、登録作業には数日かかることがありますので、予めご了承ください。

【確認結果が不合格の場合】

〇〇株式会社 〇〇様

CommonMP 機能拡張ツールライブラリ管理者（事務局）からのメールです。

ご提出いただいた機能拡張ツール「〇〇〇（機能拡張ツール名称）」の登録内容確認の結果を通知いたします。

登録内容確認の結果、登録内容に不備があるため、機能拡張ツールライブラリへの登録は見送らせていただきました。

下記に示す内容について追記・修正の上、再度機能拡張ツールデータのご提出をお願いいたします。

【登録内容確認結果】

- ・〇〇〇に不備がある。

4.2 機能拡張ツールライブラリへの登録

4.2.1 機能拡張ツールデータと機能拡張ツール解説書の格納

事務局は、登録申請者から提出された機能拡張ツールデータ（LZH 形式圧縮ファイル）と、機能拡張ツール解説書（PDF ファイル）をウェブサーバに格納する。

4.2.2 機能拡張ツールライブラリへの掲載

事務局は、機能拡張ツールライブラリの閲覧サイトへの掲載を行うことで、利用者はその閲覧サイトからダウンロードが可能となる。